

科目名	看護総合マネジメント	単位	1	時間	30	講師名	教育主事・院内講師 (看護部長・看護師・医師)
開講時期	2年生 2学期						
科目の目的と概要	看護を提供するためのシステムとその管理のあり方を理解する。災害発生時の状況を理解し、被災者のニーズを知り、医療者の役割を理解する。国際社会において広い視野に基づき看護師として諸外国との協力を考える。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP4、DP5、DP6、DP7の達成に寄与						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害時の救護活動を体験し、災害医療の基礎知識や、災害サイクルに応じた災害看護が理解できる。</li> <li>2. 看護を取り巻く諸制度やマネジメントに必要な知識と技術が理解できる。</li> <li>3. 看護管理学の基本要素とマネジメントの実践が理解できる。</li> <li>4. 看護職のキャリアにおけるマネジメントが理解できる。</li> <li>5. 世界の健康問題と国際看護について理解できる。</li> </ol>						
回数	教育内容				時間	方法	
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 災害サイクルについて 災害看護について				3	講義	
2	兵庫県・播磨広域・姫路市合同防災訓練へ参加 *負傷者役もしくは救護活動役を実際に体験する				1	体験学習	
3	災害医療総論 トリアージ				2	講義 演習	
4	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 看護とマネジメント ①看護管理学 ②看護におけるマネジメント ③看護におけるマネジメントの考え方				2	講義	
5	看護ケアのマネジメント ①看護ケアのマネジメントと看護職の機能 ②患者の権利の尊重 ③安全管理(安全とは、医療における安全の意義、医療事故・医療過誤)				2	講義	
6	看護ケアのマネジメント ①チーム医療 ②看護業務の実践				2	講義	
7	看護職のキャリアマネジメント ①キャリアとキャリア形成 ②看護職のキャリア形成 ③看護専門職としての成長④タイムマネジメント ⑤ストレスマネジメント				2	講義	
8	看護サービスのマネジメント ①看護サービスのマネジメント ②組織目的達成のマネジメント ③看護サービス提供のしくみづくり ④人材のマネジメント				2	講義	
9	看護サービスのマネジメント ①施設・設備環境のマネジメント ②物品のマネジメント ③情報のマネジメント ④組織におけるリスクマネジメント ⑤サービスの評価				2	講義	
10	看護サービスのマネジメント ①組織におけるリスクマネジメント ②サービスの評価				2	講義	
11	マネジメントに必要な知識と技術 ①マネジメントとは ②組織とマネジメント ③リーダーシップとマネジメント ④組織の調整				2	講義	
12	看護を取り巻く諸制度 ①看護の定義 ②看護職 ③医療制度 ④看護政策と制度				2	講義	
13	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 国際看護学 ①国際看護学の必要性 ②世界の健康問題の現状 ③グローバルヘルス ④国際協力のしくみ				2	講義	
14	国際看護 ①文化を考慮した看護 ②在日外国人に対する看護の実践				3	講義	
15	終講試験				1	講義	
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 統合分野 看護管理(医学書院) 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学(医学書院)						
関連科目	倫理学、社会学、国際社会と健康、基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、医療安全と看護倫理、看護実践演習、関係法規						

科目名	医療安全と看護倫理	単位	1	時間	30	講師名	医療安全管理係長・教員
開講時期	3年生 1学期						
科目の目的と概要	人間の特性を理解し、医療安全に関する知識を深める。 リスクに対する感性を高め、看護倫理に基づき患者の安全を守る行動を理解する。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4、DP5、DP7の達成に寄与						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の特性と臨床現場における事故の種類と発生のメカニズムが理解できる。</li> <li>2. 臨床現場における医療安全への取り組みが理解できる。</li> <li>3. 事故の再発を予防するために分析の必要性が理解できる。</li> <li>4. 看護場面における倫理的判断と対応について考えることができる。</li> <li>5. 患者の意思決定を支える看護師の行動について考えることができる。</li> </ol>						
回数	教育内容	時間	方法				
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 医療安全総論 1) 医療安全の意義 2) 医療事故・医療過誤 3) 医療安全の組織体制	2	講義				
2	2. 臨床現場の医療事故の実際 1) 医療事故の実際 2) 医療事故への対応 3) 医療事故の被害者・家族の対応	2	講義				
3	3. 事故発生のメカニズムとリスクマネジメント 1) ヒューマンエラーとは 2) 事故分析 2) 事故対策・リスクマネジメント	2	講義				
4	事故分析の実際(インシデント事例を使って)	2	グループワーク				
5	事故分析の実際(インシデント事例)発表	2	グループワーク				
6	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 医療安全への取り組みと医療の質の評価 1) 医療安全への取り組み 2) 医療事故に伴う法的責任(実習中含む) 3) 医療事故の報告制度	2	講義				
7	2. 知らねばならない危険の知識・気づきトレーニング	2	講義				
8	3. 看護業務に関連する事故と安全対策 1) 看護業務と事故発生要因 2) 医療事故の種類 3) ISBARCとは	2	講義 グループワーク				
9	医療安全シミュレーション学習(ISBARC)	2	演習				
10	4. 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 1) 感染 2) 医療機器・医療品 3) 労働形態 4) 患者・第三者による暴力	2	講義				
11	5. 看護倫理 1) 倫理とは 2) 生命倫理の原則 3) 看護倫理 4) 看護者の倫理綱領 5) ケアリング 6) アドボカシー	2	講義				
12	6. 看護場面における倫理的判断と対応の実際 1) 精神看護 2) 小児看護 3) 遺伝看護 4) 終末期ケア	2	講義				
13	7. 看護場面における意思決定支援(老年看護、地域・在宅看護事例)	2	グループワーク				
14	上記、事例で検討	2	グループワーク				
15	8. 医療事故後の対応 医療安全と看護倫理 まとめ	1	講義				
16	終講試験	1	試験				
評価方法	筆記試験(80点) ISBARC演習(20点)						
テキスト	医療安全(メディカ出版) 医療安全ワークブック(医学書院) 系統看護学講座 別巻 看護倫理(医学書院)						
関連科目	倫理学、人間関係論、基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学						

科目名	看護研究の実践	単位	1	時間	30	講師名	教育主事 教員
開講時期	2年生 2学期						
科目の目的と概要	看護における研究の意義を理解し、看護に関する研究を実践することができる。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP6、DP7の達成に寄与						
到達目標	1. 研究テーマを明確にし、テーマに沿った文献検索、文献検討ができる 2. 研究計画書が作成できる 3. アンケート作成、データの集計、分析し、結果を発表できる 4. 質的研究、ケーススタディの意義が理解できる 5. ケーススタディの発表ができる						
回数	教育内容				時間	方法	
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 看護研究テーマの明確化について グループ作成 研究テーマ(量的研究)に沿って文献検索と文献検討				2	講義 演習	
2	研究計画書作成				2	講義 演習	
3	アンケート作成				2	講義 演習	
4	アンケート作成				2	講義 演習	
5	アンケート集計・分析				2	講義 演習	
6	アンケート分析結果の発表準備				2	講義 演習	
7	アンケート分析結果の発表				2	講義 演習	
8	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 質的研究デザイン ケーススタディとは 概念と理論 倫理的配慮 ケーススタディの意義と限界				2	講義	
9	ケーススタディに活かす看護理論(大理論・中範囲理論・実践理論)				2	講義	
10	研究計画書、レポート(研究報告書)、抄録の構造・書き方				2	講義	
11	研究計画書 文献検索				2	講義 演習	
12	レポート作成				2	演習	
13	レポート プレゼンテーション作成				2	演習	
14	レポート プレゼンテーション作成 発表原稿・パワーポイント準備				2	演習	
15	ケーススタディ発表会				2	発表	
評価方法	論文評価(看護研究50点・ケーススタディ50点)						
テキスト	看護研究(医学書院) 看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 新版(照林社) 看護実践に活かす中範囲理論 第2版(メヂカルフレンド社) 看護理論～看護理論21の理解と実践への応用(南江堂)						
関連科目	研究の基礎、情報科学、看護情報学、基礎看護学、成人看護学、老年看護学						

科目名	※看護実践演習	単位	1	時間	30	講師名	教員
開講時期	3年生 1学期 2学期						
科目の目的と概要	実務に即した実践ができるよう専門分野の知識・技術を統合して、看護実践できる。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4、DP5、DP6、DP7の達成に寄与						
到達目標	1. 手術を受ける患者の看護の状態に応じた看護が実践できる。 2. 複数患者を受け持つときの優先順位の考え方が理解できる。 3. 状況に合わせた看護を判断し、必要な行動が理解できる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 手術を受ける患者の看護① 術直後の患者の看護計画立案					2	講義 演習
2	手術を受ける患者の看護② 【事前課題】術後合併症 術直後の患者の看護の実際 術後合併症					2	演習
3	手術を受ける患者の看護② 術直後の患者の看護の実際 振り返り					2	演習
4	手術を受ける患者の看護③ 【事前課題】点滴静脈注射のトラブルと対応 点滴静脈内注射のトラブル対応					2	演習
5	手術を受ける患者の看護③ 点滴静脈内注射のトラブル対応 振り返り					2	演習
6	手術を受ける患者の看護④ 術後1日目 離床場面の看護の実際 ①					2	演習
7	複数患者を受け持つ時の看護① 複数患者を受け持つ時の行動計画立案の考え方 優先度の考え方 多重課題の特徴と対応					2	講義 演習
8	複数患者を受け持つ時の優先順位を考慮した看護の実際② ロールプレイング					2	演習
9	複数患者を受け持つ時の優先順位を考慮した看護の実際③ 振り返り・行動計画追加・修正					2	演習
10	夜間看護について 夜間に複数患者を受け持つ時の行動計画立案					2	講義 演習
11	状況に合わせた看護① 薬剤の飲み忘れの場面					2	演習
12	状況に合わせた看護② 薬剤の飲み忘れの場面					2	講義
13	手術を受ける患者の看護⑤ 術後1日目 離床場面の看護の実際 ②					2	演習
14	客観的臨床能力試験(OSCE)					1	試験
15	OSCE後まとめ					2	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(40点) OSCE(50点) シミュレーション学習の振り返りシート(10点)						
テキスト	系統看護学講座 統合分野 看護管理(医学書院)						
関連科目	保健医療福祉チーム演習、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、看護総合マネジメント、医療安全と看護倫理						
その他	※ この科目は実務経験のある教員による授業科目である。						